



沖縄の空手——その基本形の時代



津波高志 [琉球大学名誉教授／民俗学]=著

定価：本体1800円 [税別] / 四六判並製 / 192頁

目 次	第一章	本書の目的
	第二章	従来への諸研究
	第三章	固有語の名称
	第四章	名称の民俗分類
	第五章	民俗分類と文献
	第六章	民俗分類外の諸用語
	第七章	空手史の基本形
	第八章	今日的な問題点
	コラム①	巻藁
	コラム②	京阿波根實基の逃走経路と塚



唐手？ 空手？ KARATE？

2021年の東京オリンピックで初めて正式種目に採用され、注目を集める空手。ではその空手は、どこで生まれたのでしょうか？ 答えは「琉球」。そして大正以降に日本本土へ、戦後に世界各地へひろまったという歴史をもちます。しかし、琉球王国時代の沖縄で、空手がどのように発生したかはほとんどわかっていません。本書では、確かな資料や伝承を掘り起こし、それらを丁寧に整理することで、空手の起源に迫ります。

●版元より、書店の皆様へ

「空手って道着を着ているけれど、日本の武術なの？」「少林寺拳法やテコンドーとは違うの？」「そういえば唐手とも書くよね……」などなど、空手はオリンピックに採用されるほど競技人口も多く、知名度も高いのに、その実態があまり知られていないように思います。オリンピックでのダイナミックな競技を見る前に、ぜひ本書で空手の歴史をたどっていただければと思います。

株式会社 七月社 ☎182-0015 東京都調布市八雲台 2-24-6 電話／FAX：042-455-1385

帳合・番線 注文数	発行：七月社 電話：042-455-1385
	津波高志=著 沖縄の空手——その基本形の時代 四六判並製 / 192頁 / 本体1800円 / ISBN978-4-909544-17-9 C0039

ご注文は JRC へ / FAX **03-3294-2177** *返品条件付き注文扱い * JRC 経由ですべての取次への出荷が可能です